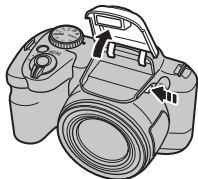


⚡ フラッシュ撮影する (iフラッシュ)

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1 フラッシュポップアップボタンを押します。
フラッシュがポップアップします。



● フラッシュ発光禁止

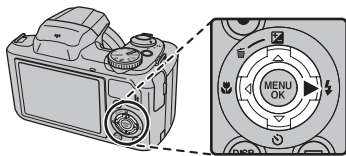
フラッシュを閉じると発光禁止になります。




フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。

被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。





- 2 フラッシュ設定を選びます。
⚡ (▶) ボタンを押すたびに、設定が切り換わります。



フラッシュ設定	説明
AUTO /  (オートフラッシュ、 表示なし)	ほとんどの状況に適しています。 カメラが暗いと判断したときに フラッシュが発光します。
⚡ /  (強制発光)	逆光で被写体が暗くなっている ときに使います。周囲の明るさ にかかわらず、フラッシュが発 光します。
S /  (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影 できます。明るい場所では露出 オーバーになることがあります。

3 構図を決めてピントを合わせます。

☛ チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ブレしやすい状態では、画面に  が表示されますので三脚をご使用ください。



4 撮影します。

☛ チェック

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。






☛ チェック


フラッシュが発光すると画像の周辺部が暗くなる場合があります。

📌 メモ : i フラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「i フラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

🔴 顔キレイナビ ON、赤目補正 ON のときのフラッシュ設定について

セットアップメニューで**赤目補正**を ON (→ 96 ページ) にして、顔キレイナビを ON に設定 (→ 39 ページ) した場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 (赤目軽減オートフラッシュ)、 (赤目軽減+強制発光)、 から設定できます。

 (赤目軽減オートフラッシュ) は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

